

2025 年度第 2 四半期業績発表

2025 年 8 月 6 日

エボニック、経済環境に伴い四半期業績は低調

- ・ 経済の不確実性により売上高が減少
- ・ 第 2 四半期の調整後 EBITDA は 12%減少
- ・ 2025 年通期見通し: 調整後 EBITDA は予測範囲の下限を見込む

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

経済環境が一段と厳しさを増すなか、エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン 以下「エボニック」)の 2025 年第 2 四半期における調整後 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益)は、前年同期の好調な業績から 12%減の 5.09 億ユーロとなりました(2024 年第 2 四半期:5.78 億ユーロ)。

取締役会長(CEO)のクリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は、「第 2 四半期は、需要の低迷と高い不確実性に見舞われましたが、当社の業績にもそれが反映されています」と述べています。

第 2 四半期売上高は、前年同期比 11%減の 35 億ユーロでした(2024 年第 2 四半期:39.3 億ユーロ)。この減少は主に、不利な為替変動の影響に加え、2024 年第 2 四半期にはまだエボニックで展開していた高吸収性樹脂事業の売却によるものです。販売数量は 4%減少しました。価格は概ね安定して推移しました。C4 チェーン製品の売上高は平均を下回りました。また、ポリアミド 12 などの生産設備におけるメンテナンスに伴う操業停止も予定より長期化し、売上減少の一因となりました。

調整後 EBITDA マージンは、前年同期とほぼ同水準の 14.5%でした(2024 年第 2 四半期:14.7%)。純利益は、組織の効率化を図る「エボニック・テラーメイド」プログラムの引当金の影響で前年同期はマイナス 500 万ユーロだったのに対し、当期は 1.2 億ユーロでした。フリーキャッシュフローはマイナス 2.11 億ユーロとなりました(2024 年第 2 四半期:プラス 2.17 億ユーロ)。この指標は、2024 年度における運転資本の増加と、変動報酬支払額の大幅な増加による影響を受けています。

最高財務責任者(CFO)のマイケ・シュー(Maike Schuh)は「経済状況は 5 月と 6 月に明らかに悪化しましたが、下半期には、メンテナンスによる操業停止が少なくなり、一部の製品における新たな生産能力の強化による恩恵を受けると考えています」と述べています。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

2025 年の調整後 EBITDA は、世界経済がこれ以上悪化しない限り、20 億ユーロから 23 億ユーロの予測範囲の下限に達すると見込んでいます。

2025 年のキャッシュ・コンバージョン・レートは、引き続き約 40%になる見込みです。良好なフリーキャッシュフローを確保するため、設備投資額を 1 億ユーロ削減し、約 7.5 億ユーロとする予定です。ROCE(使用資本利益率)は、前年水準と同程度になると予想されています(2024 年度:7.1%)。

事業部門の業績

カスタム・ソリューション:

2025 年第 2 四半期の売上高は 7%減の 13.7 億ユーロでした。これは販売数量の減少と為替のマイナス影響によるものですが、販売価格の微増により、売上高の減少が緩和されました。ポリウレタンフォーム用添加剤や耐久消費財用の添加剤の需要量は、著しく低下しました。塗料・コーティング業界向け製品の需要も、好調だった前年同期を下回りました。オイルアディティブスについては、需要の変化はほとんどみられませんでした。販売価格は上昇しました。全体として、添加剤の売上高は減少しました。ケア部門の売上高も販売数量が減少した結果、前年同期比で減少しました。調整後 EBITDA は、主に販売数量の減少により10%減の 2.54 億ユーロとなりました。調整後 EBITDA マージンは、前年同期の 19.1%から 18.6%に低下しました。

アドバンスド・テクノロジー:

第 2 四半期売上高は、販売価格のわずかな下落と為替のマイナス影響により 1%減の 15.1 億ユーロでしたが、販売数量の微増により、売上高の減少が緩和されました。アニマルニュートリション事業の売上高は、販売数量の増加により前年同期比で大幅増となりました。無機製品部門では、過酸化水素事業がライセンス契約による恩恵を受けましたが、全体として、無機製品の売上高は、需要全般の低迷により前年を下回りました。有機製品の売上高は、大幅に減少しました。これは、クロスリンカー事業における高い競争圧力と、高機能プラスチック事業における計画的なメンテナンスに伴う操業停止で販売数量が減少したことが、その要因となっています。調整後 EBITDA は前年とほぼ同水準の 2.66 億ユーロで、業績不振の影響は前述の契約で合意された一時的な収入によって相殺された結果となりました。調整後 EBITDA マージンは、前年同期の 17.4%から 17.6%に微増しました。

エボニックグループ：損益計算書(抜粋)

(単位:100万ユーロ)	第2四半期			上半期		
	2024	2025	増減(%)	2024	2025	増減(%)
売上高	3,930	3,499	-11	7,726	7,276	-6
調整後 EBITDA	578	509	-12	1,100	1,069	-3
調整後 EBIT	329	250	-24	594	559	-6
調整	-236	-14		-248	-24	
純金融費用	-31	-44		-65	-73	
税引前利益(継続事業)	62	192	210	281	462	64
法人税等	-61	-68		-119	-103	
税引後利益(継続事業)	1	124	-	162	359	122
税引後利益(非継続事業)	-	-		-1	-	
税引後利益	1	124	-	161	359	123
非支配持分	6	4		10	6	
当期純利益	-5	120	-	151	353	134
調整後当期純利益	234	160	-32	431	435	1

各事業部門の業績(第2四半期)

(単位:100万ユーロ)	売上高			調整後 EBITDA		
	2024	2025	増減(%)	2024	2025	増減(%)
アドバンスド・テクノロジー	1,533	1,511	-1	267	266	-
カスタム・ソリューション	1,472	1,367	-7	281	254	-10
インフラストラクチャー	857	584	-32	108	38	-65
その他事業	68	37	-46	-78	-49	37
グループ全体	3,930	3,499	-11	578	509	-12

前年度数値は修正表。.

各事業部門の業績(上半期)

(単位:100万ユーロ)	売上高			調整後 EBITDA		
	2024	2025	増減(%)	2024	2025	増減(%)
アドバンスド・テクノロジー	3,050	3,112	2	542	557	3
カスタム・ソリューション	2,864	2,793	-2	512	510	-
インフラストラクチャー	1,689	1,292	-24	174	99	-43
その他事業	123	79	-36	-128	-97	24
グループ全体	7,726	7,276	-6	1,100	1,069	-3

前年度数値は修正表示。

エボニックグループの事業部門別従業員数

	2024年 12月31日	2025年 6月30日
アドバンスド・テクノロジー	9,568	9,312
カスタム・ソリューション	9,736	9,649
インフラストラクチャー	3,863	3,656
その他事業	8,763	8,656
グループ全体	31,930	31,273

前年度数値は修正表示。

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、ドイツのエッセンに本社を置く世界的な化学企業です。革新的な強みと最先端の技術的専門知識を組み合わせ、化学のその先を目指しています。100カ国以上で事業を展開し、2024年度は152億ユーロの売上、21億ユーロの利益(調整後EBITDA)でした。業界をリードする力強いパフォーマーとして、オーダーメイドの製品とソリューションでお客様に決定的な競争優位性を提供します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、約32,000人の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2025年8月1日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)